

八千代工業株式会社

第69回定時株主総会

2022年6月21日

事業報告

連結計算書類

計算書類



第69回(2021年度) 定時株主総会 招集ご通知

2021年4月1日～2022年3月31日

開催情報

日 時 2022年6月21日(火曜日)
午前10時30分(受付開始予定 午前9時30分)

会 場 埼玉県川越市藤田本町22番地5
ラ・ポア・ラクテ 4階 大会場

インターネット及び書面による議決権行使期限
2022年6月20日(月曜日) 午後5時まで

新型コロナウイルスに関するお知らせ

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、株主総会へのご出席に際しましては、株主総会開催日時点での流行状況やご自身の体調をご確認のうえ、感染防止にご配慮賜りますようお願い申し上げます。また、株主総会会場において、株主様の安全に配慮した感染拡大防止の措置を講じる場合がありますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。
- ・株主総会終了後に開催しておりました事業方針説明会につきましては、取りやめとさせていただきますので何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

目 次

第69回定時株主総会招集ご通知	2
株主総会参考書類	5
第1号議案 剰余金の処分の件	5
第2号議案 定款一部変更の件	6
第3号議案 取締役5名選任の件	8
第4号議案 補欠監査役1名選任の件	13

(添付書類)

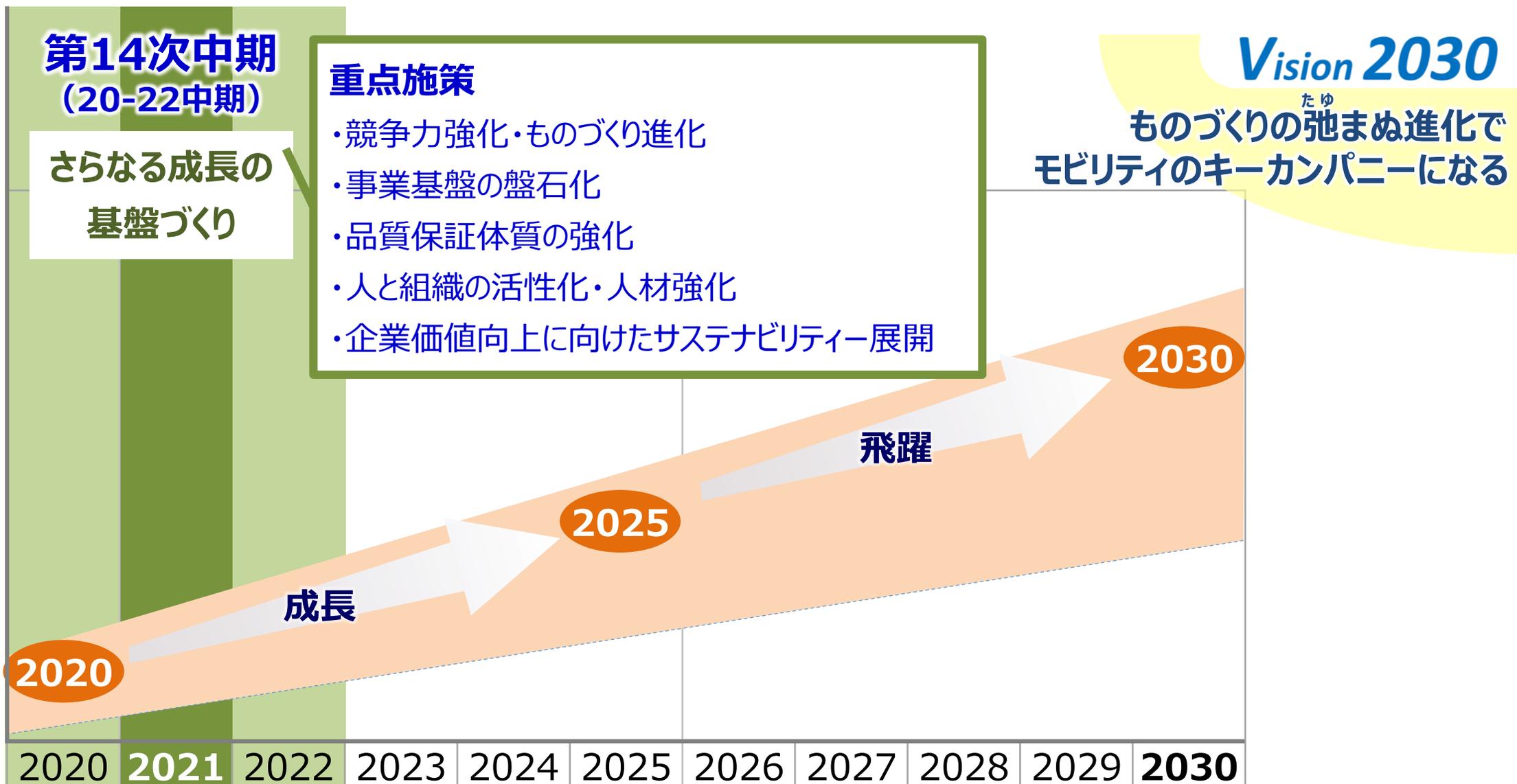
事業報告	14
連結計算書類	37
計算書類	44
監査報告	49
ご参考	55

八千代工業株式会社 証券コード：7290

招集ご通知14～48ページをご覧ください

2021年度の経済情勢

- 全世界的**
 - ・半導体の供給不足による、各種製品の生産量の減少
 - ・原油を始めとする原材料価格の高騰
- 国内**
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響 → 個人消費に弱さが見られた
 - ・設備投資は持ち直しの動き
- 海外**
 - ・米国、中国
 - 新型コロナウイルス感染症の影響
 - 金融市場の変動が懸念されたが、景気は緩やかに回復
 - ・アジア諸国
 - 景気は下げ止まり



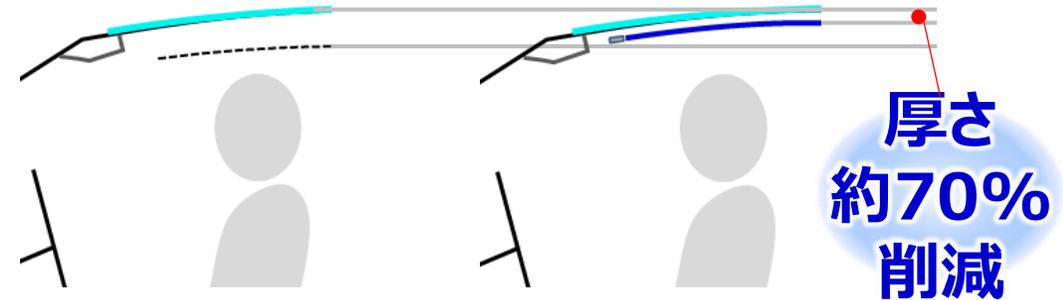
将来を見据えた施策を展開し、次の中期、2030年へと繋げる

ガラスTOP薄型ロールサンシェードモジュール 開発が完了
従来に対し厚さを約70%削減



従来のサンシェード

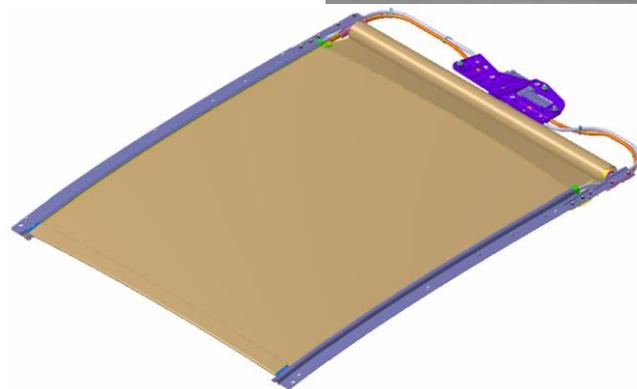
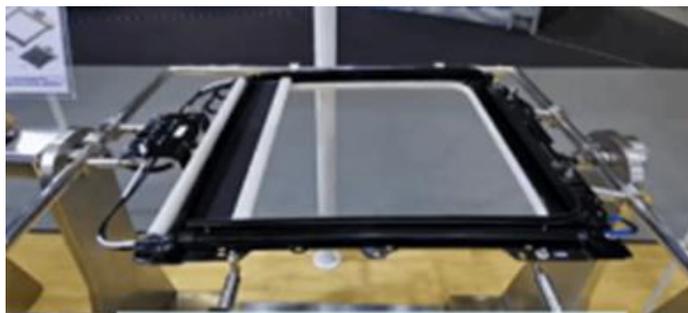
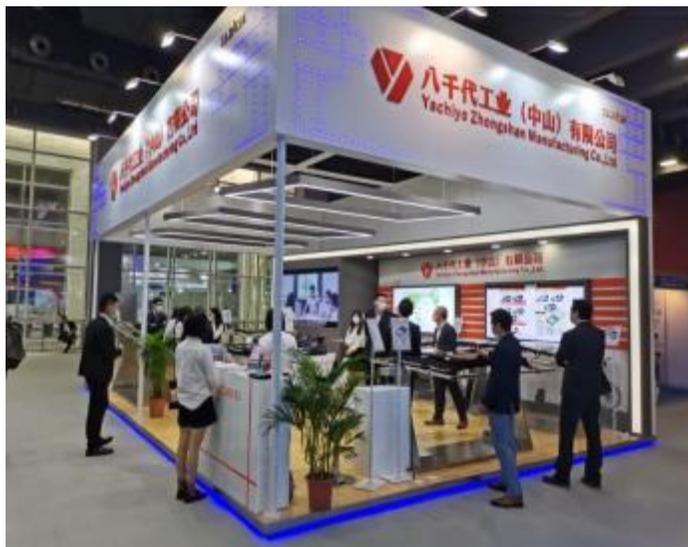
ロールサンシェード



今後は販路の拡大を目指し自動車メーカーへ営業展開を実施

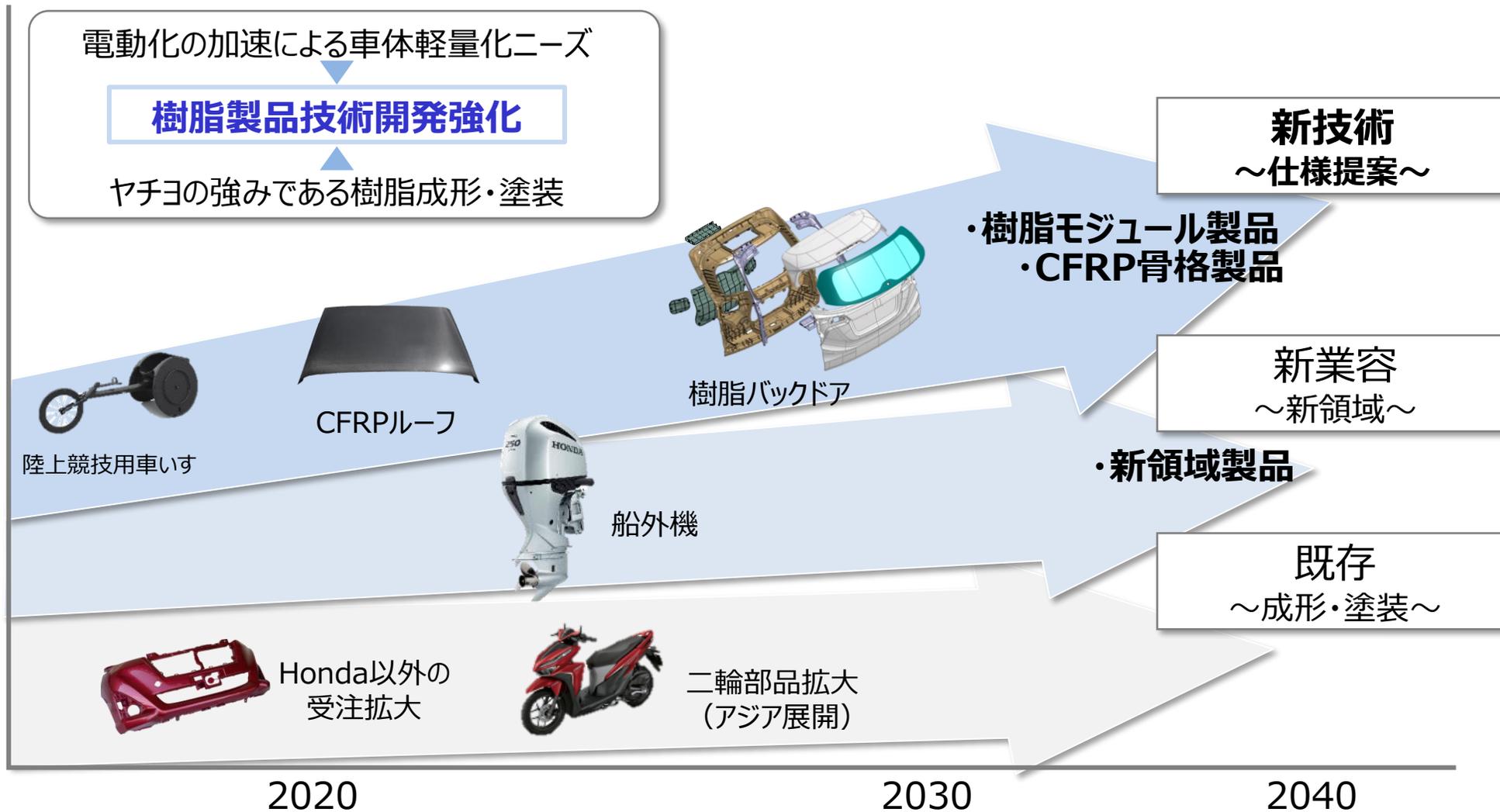
中国自動車メーカーからロールサンシェードを受注

広州モーターショーに出展し営業展開



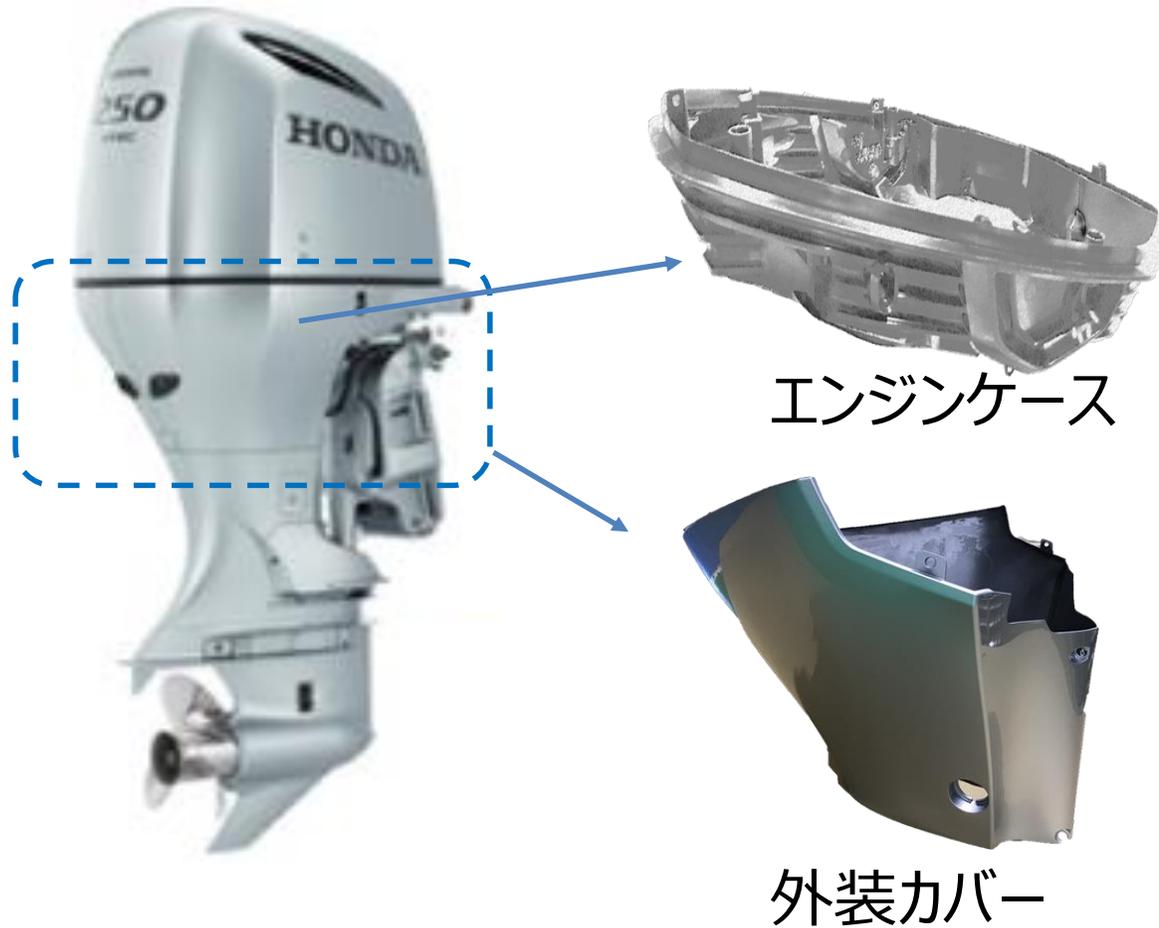
生産拠点 八千代工業 (中山) 有限公司
生産開始 2024年春ごろ

樹脂バックドアは開発が完了 上市に向けた営業展開



樹脂製燃料タンク、サンルーフに続く第3の事業として樹脂製品を強化

新機種を受注 量産開始



2021年11月より柏原工場で量産開始

樹脂領域の技術をさらに磨き モビリティのキーカンパニーへ向け推進

カーボンルーフ 想定を大幅に上回る受注により増産対応



【特長】

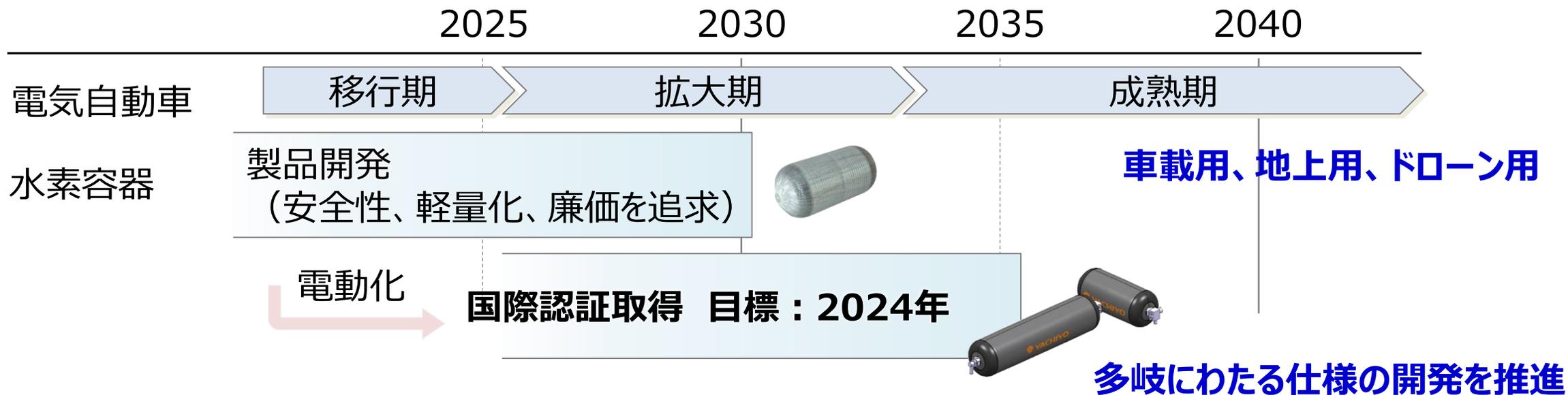
従来の布製に対し、約20%の軽量化
ボディの高剛性化
広い室内空間の確保
カーボンの美しさを引き出す表面仕上げ

カーボンリアフード 発売開始に向けて開発推進（2022年10月発売予定）

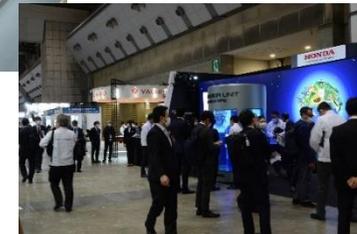


【特長】

純正の鉄製に対し、約50%の軽量化
カーボンの美しさを引き出す表面仕上げ



FC EXPO 2022に出展



国際認証取得後、量産化を目指す

Fitへの適合開発を推進 2022年4月に1号車を出荷

運転補助装置

Honda
FRANZ
SYSTEM



福祉車両でホンダアクセスさまから
優良感謝賞を受賞



今後もお客さまの「移動の喜び」と「操る楽しさ」を支え続ける

樹脂製燃料タンク 形状安定化施策を推進

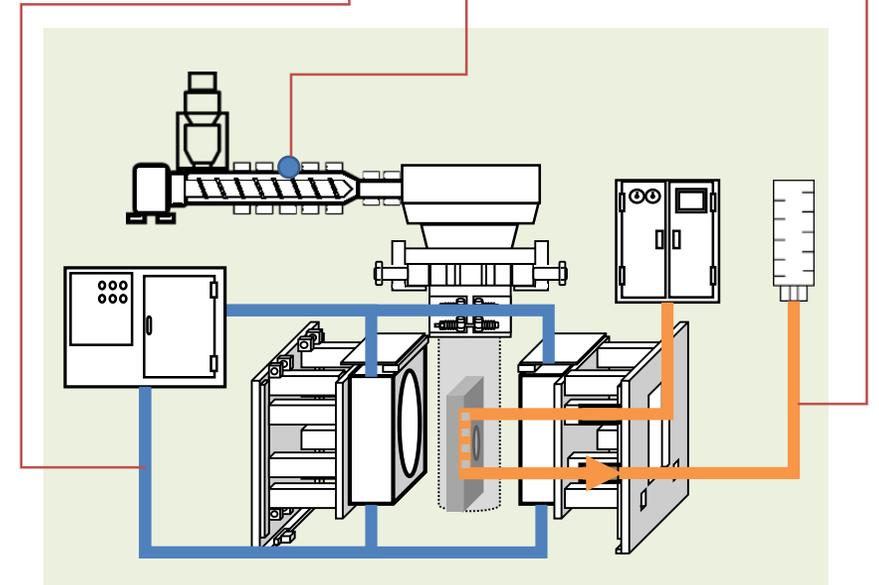


形状安定のキーファクターである
冷却効率向上施策を推進

製品冷却エア—流量

樹脂温度

金型冷却温度



安定した品質で生産できる製造技術を確立

グローバル3拠点でHonda 2021年度サプライヤーアワードを受賞



八千代工業（武漢）有限公司



ヤチヨ マニュファクチュアリング オブ
アメリカ エル エル シー



ヤチヨ メキシコ マニュファクチュアリング
イス エー デ シー ブイ

2020年度・2021年度と2年連続受賞



引き続き、お客さまのニーズを満たす高品質な製品づくりに努める

風土改革の取り組み

Vision 2030

ものづくりの^{たゆ}弛まぬ進化で
モビリティのキーカンパニーになる

企業風土改革の必要性

激しく変化する社会に追従し、
より一層ヤチヨを進化・発展させていく

飛躍に向けた
変革

企業風土改革の目的

全員の力で
『働く意義や誇り』を感じられ
『魅力ある会社』をつくる

変革すべきこと

想い 意識
一致団結への変革
自ら挑戦し進化する集団への変革

+α

満足度向上

これまでの組織風土改革

従業員一人ひとりが
より生き活きと働きがいを感じられる
職場・組織・会社を作り上げる

《主な施策》

- ◇ マネジメント改革
- ◇ 会議体の見直し
- ◇ 経営との情報伝達
- ◇ 企業理念浸透活動

結果

継続展開

従業員意識調査の実施

企業理念

再生可能エネルギーへの転換

環境基本方針

責任ある社会の一員として、持続可能な社会の実現に向け、全ての企業活動を通じて、積極的に地球環境の維持向上に努めます。

企業価値向上に向けた取り組み

- 1.気候変動への対応（CO2排出量削減、省エネ）
- 2.水使用量・廃棄物量削減（水リスク、資源問題）

太陽光発電の導入

ヤチヨ インディア
マニファクチャリング プライベート リミテッド



2021年稼働



八千代工業（武漢）有限公司



2022年
稼働予定

八千代工業（中山）有限公司



2023年
稼働予定

2050年カーボンニュートラルの達成に向けた取り組みを開始

支援活動で「笑顔」と「喜び」を届ける 社会貢献活動 フードバンク、奨学金の寄付など



サイアム ヤチヨ カンパニー リミテッド
プラチンブリ県内の学校25か所に奨学金の支援



イー ワイ マニュファクチュアリング リミテッド
飢餓のない社会を目指す団体でボランティア活動



八千代工業（武漢）有限公司
米や食用油を100世帯へ寄贈



八千代工業
地域のフードバンク活動を実施

継続した社会貢献活動を実施し、地域から愛される企業を目指す

連結業績

製品別業績

セグメント別業績

	2020年度	2021年度	前年度比		
売上収益	1,572億円	1,642億円	+70億円	(+4.5%)	↑
営業利益	56億円	105億円	+49億円	(+86.9%)	↑
税引前利益	61億円	119億円	+58億円	(+94.9%)	↑
親会社の所有者に 帰属する当期利益	7億円	52億円	+45億円	(+674.2%)	↑

※ 1億円未満は四捨五入して表示しております

製品別業績



アジアで生産台数が増加
日本、米州、中国では減少

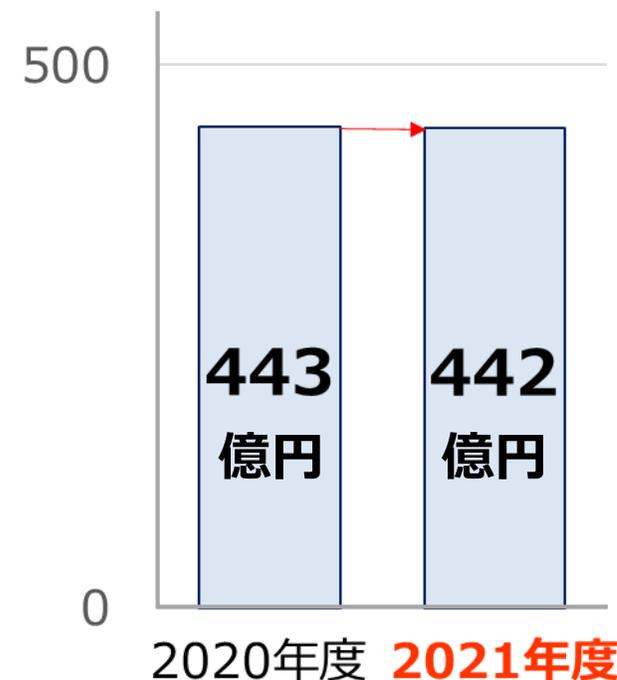
生産台数

単位：千台



前年度比 -310千台
(-7.3%)

売上収益



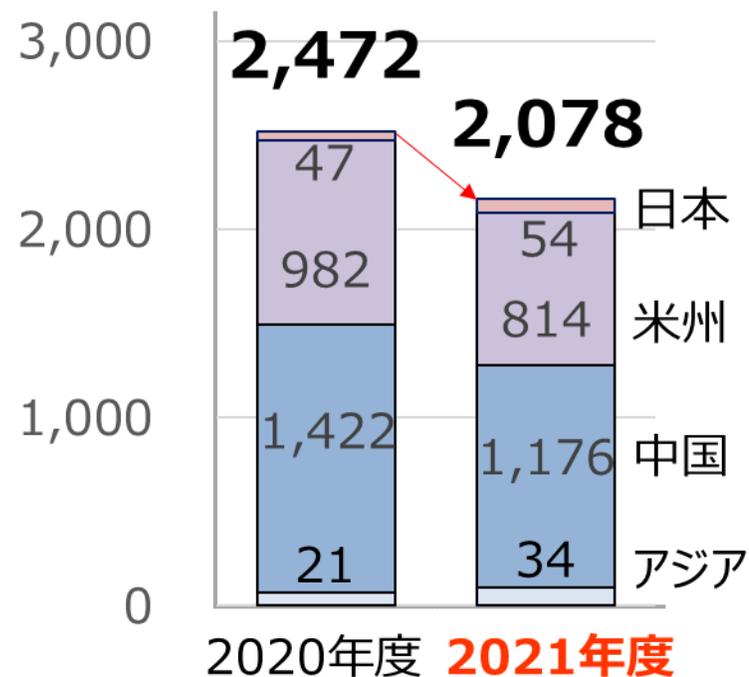
前年度比 -1億円
(-0.2%)

※ 1億円未満は四捨五入して表示しております



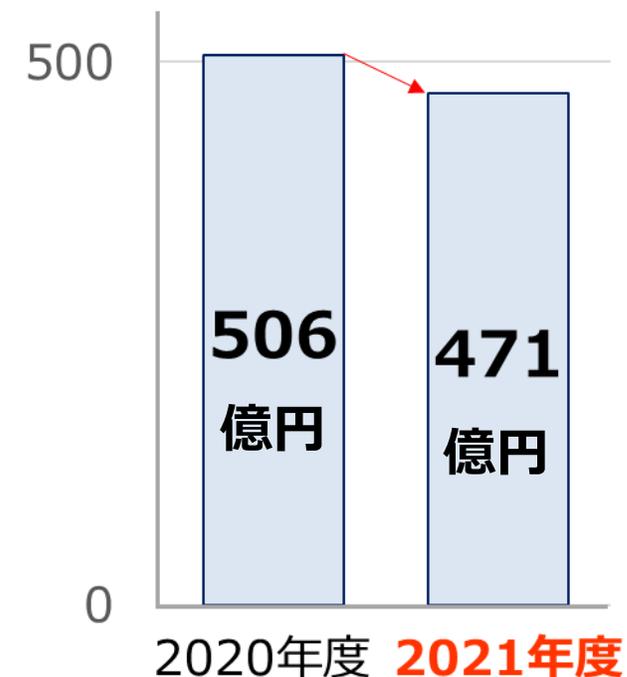
生産台数

単位：千台



前年度比 -394千台 (-16.0%)

売上収益



前年度比 -35億円 (-6.9%)

日本、アジアで生産台数が増加
米州、中国では減少

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



バンパー

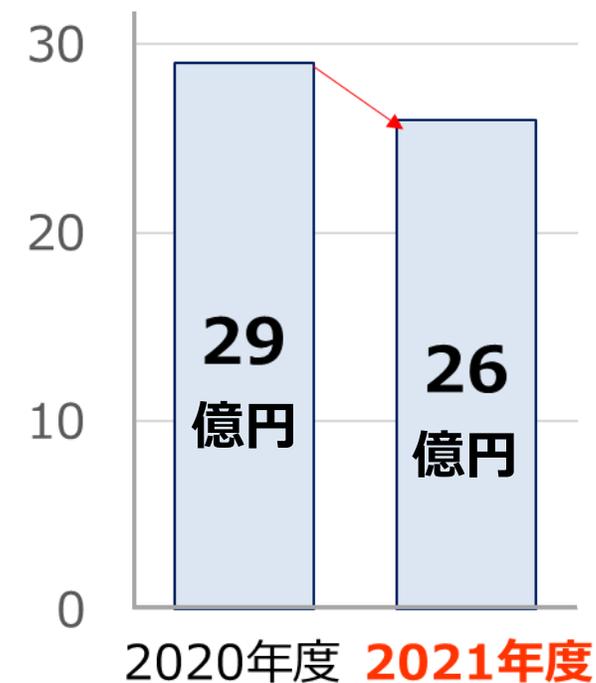


二輪部品



オプション用品

売上収益



前年度比 **-3億円 (-10%)**

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



フレーム



メタルキャタライザー
(触媒)



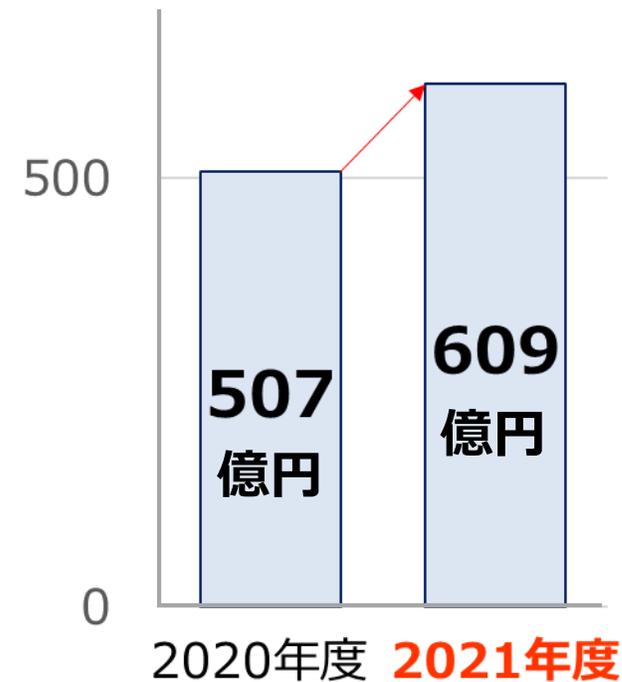
マフラー



二輪部品の生産を担う
合志技研工業グループ

日本、アジアで生産台数が回復
為替換算上の増収影響により増収

売上収益



前年度比 +102億円
(+20%)

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております

セグメント別業績

	2020年度	2021年度	前年度比
売上収益	214億円	239億円	+25億円 (+11.5%)
税引前利益	-22億円	12億円	+34億円 (-%)

主な製品



燃料タンク



サンルーフ



樹脂部品



二輪部品

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



主な要因

- ・売上収益 **新型コロナウイルス感染症からの受注の持ち直しなどにより増収**
- ・税引前利益 **受注の増加、原価改善効果や減損損失の減少などにより改善**

	2020年度	2021年度	前年度比	
売上収益	291億円	285億円	-5億円	(-1.9%) ↓
税引前利益	-59億円	-22億円	+37億円	(- %) ↑

主な製品



燃料タンク



サンルーフ

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



主な要因

- ・売上収益 半導体供給不足による受注の減少などにより減収
- ・税引前利益 原価改善効果などにより改善

	2020年度	2021年度	前年度比	
売上収益	577億円	531億円	-46億円	(-7.9%) ↓
税引前利益	122億円	102億円	-20億円	(-16.5%) ↓

主な製品



燃料タンク



サンルーフ

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



主な要因

- ・売上収益 半導体供給不足による受注の減少などにより減収
- ・税引前利益 受注の減少などにより減益

	2020年度	2021年度	前年度比	
売上収益	490億円	587億円	+97億円	(+19.7%)
税引前利益	21億円	28億円	+7億円	(+33.9%)

主な製品



燃料タンク



サンルーフ



樹脂部品



二輪部品

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております



主な要因

- ・売上収益 受注の回復により増収
- ・税引前利益 受注の回復により増益

連結財政状態計算書 連結損益計算書 連結包括利益計算書 連結持分変動計算書 連結キャッシュ・フロー計算書 貸借対照表 損益計算書 株主資本等変動計算書



第69回(2021年度) 定時株主総会 招集ご通知

2021年4月1日～2022年3月31日

開催情報

日 時 2022年6月21日(火曜日)
 午前10時30分(受付開始予定 午前9時30分)

会 場 埼玉県川越市藤田本町22番地5
 ラ・ポア・ラクテ 4階 大会場

インターネット及び書面による議決権行使期限
 2022年6月20日(月曜日) 午後5時まで

新型コロナウイルスに関するお知らせ
 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、株主総会へのご出席に際しましては、株主総会開催日時点での流行状況やご自身の体調をご確認のうえ、感染防止にご配慮賜りますようお願い申し上げます。また、株主総会会場において、株主様の安全に配慮した感染拡大防止の措置を講じる場合がありますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

・株主総会終了後に開催しておりました事業方針説明会につきましては、取りやめとさせていただきますので何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

目 次

第69回定時株主総会招集ご通知	2
株主総会参考書類	5
第1号議案 剰余金の処分の件	5
第2号議案 定款一部変更の件	6
第3号議案 取締役5名選任の件	8
第4号議案 補欠監査役1名選任の件	13

(添付書類)

事業報告	14
連結計算書類	37
計算書類	44
監査報告	49
ご参考	55

招集ご通知37～48ページをご覧ください

	2020年度	2021年度	前年度比
資産合計	1,264億円	1,433億円	+168億円
負債合計	614億円	669億円	+54億円
親会社の所有者に帰属する持分合計	527億円	626億円	+99億円
非支配持分	124億円	138億円	+15億円
資本合計	650億円	764億円	+114億円
負債及び資本合計	1,264億円	1,433億円	+168億円

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております

当社単独業績

単独業績（日本基準）

	2020年度	2021年度	前年度比	
売上高	292億円	212億円	-80億円	(- %)
営業利益	-10億円	3億円	+13億円	(- %) 
経常利益	51億円	82億円	+31億円	(60.7%) 
当期純利益	3億円	36億円	+32億円	(974.1%) 

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております

※「収益認識に関する会計基準」等を当年度の期首から適用しているため、当年度に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、売上高においては大きな影響が生じるため、対前年度増減率は記載しておりません。なお当年度より金型に係る会計方針を変更しており、前年度については遡及適用後の数値となっております。

経営方針、経営環境 及び対処すべき課題等



第69回(2021年度) 定時株主総会 招集ご通知

2021年4月1日～2022年3月31日

開催情報

日 時 2022年6月21日(火曜日)
午前10時30分(受付開始予定 午前9時30分)

会 場 埼玉県川越市藤田本町22番地5
ラ・ポア・ラクテ 4階 大会場

インターネット及び書面による議決権行使期限
2022年6月20日(月曜日) 午後5時まで

新型コロナウイルスに関するお知らせ
・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、株主総会へのご出席に際しましては、株主総会開催日時点での流行状況やご自身の体調をご確認のうえ、感染防止にご配慮賜りますようお願い申し上げます。また、株主総会会場において、株主様の安全に配慮した感染拡大防止の措置を講じる場合がありますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

・株主総会終了後に開催しておりました事業方針説明会につきましては、取りやめとさせていただきますので何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

目 次

第69回定時株主総会招集ご通知	2
株主総会参考書類	5
第1号議案 剰余金の処分の件	5
第2号議案 定款一部変更の件	6
第3号議案 取締役5名選任の件	8
第4号議案 補欠監査役1名選任の件	13

(添付書類)

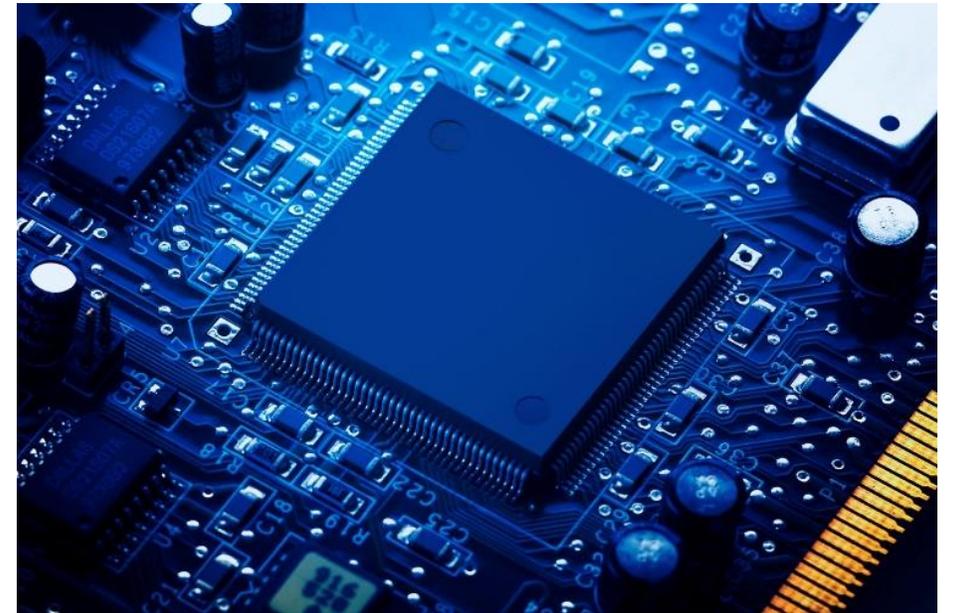
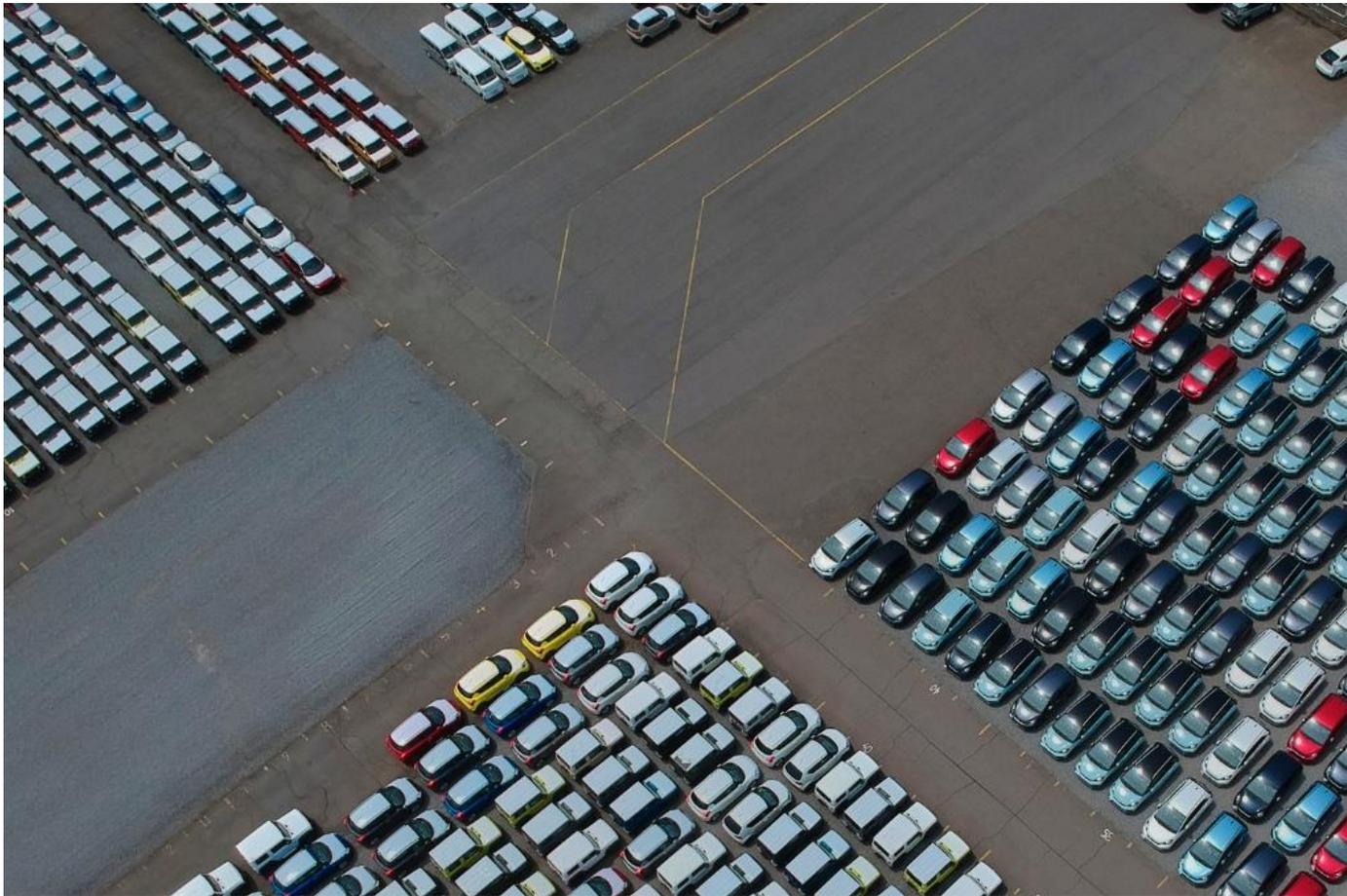
事業報告	14
連結計算書類	37
計算書類	44
監査報告	49
ご参考	55

八千代工業株式会社 証券コード：7290

招集ご通知17～18ページをご覧ください

自動車業界

半導体の供給不足から新車の生産への影響が長期化



先行きを予想することが非常に
困難な状況が続く

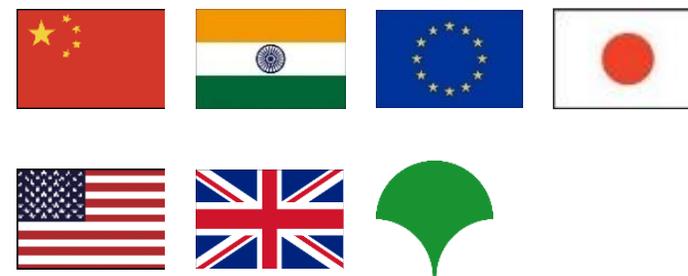
今後の動向を注視していく

自動車の電動化



各国政府、自治体

自動車の電動化目標の年を定める



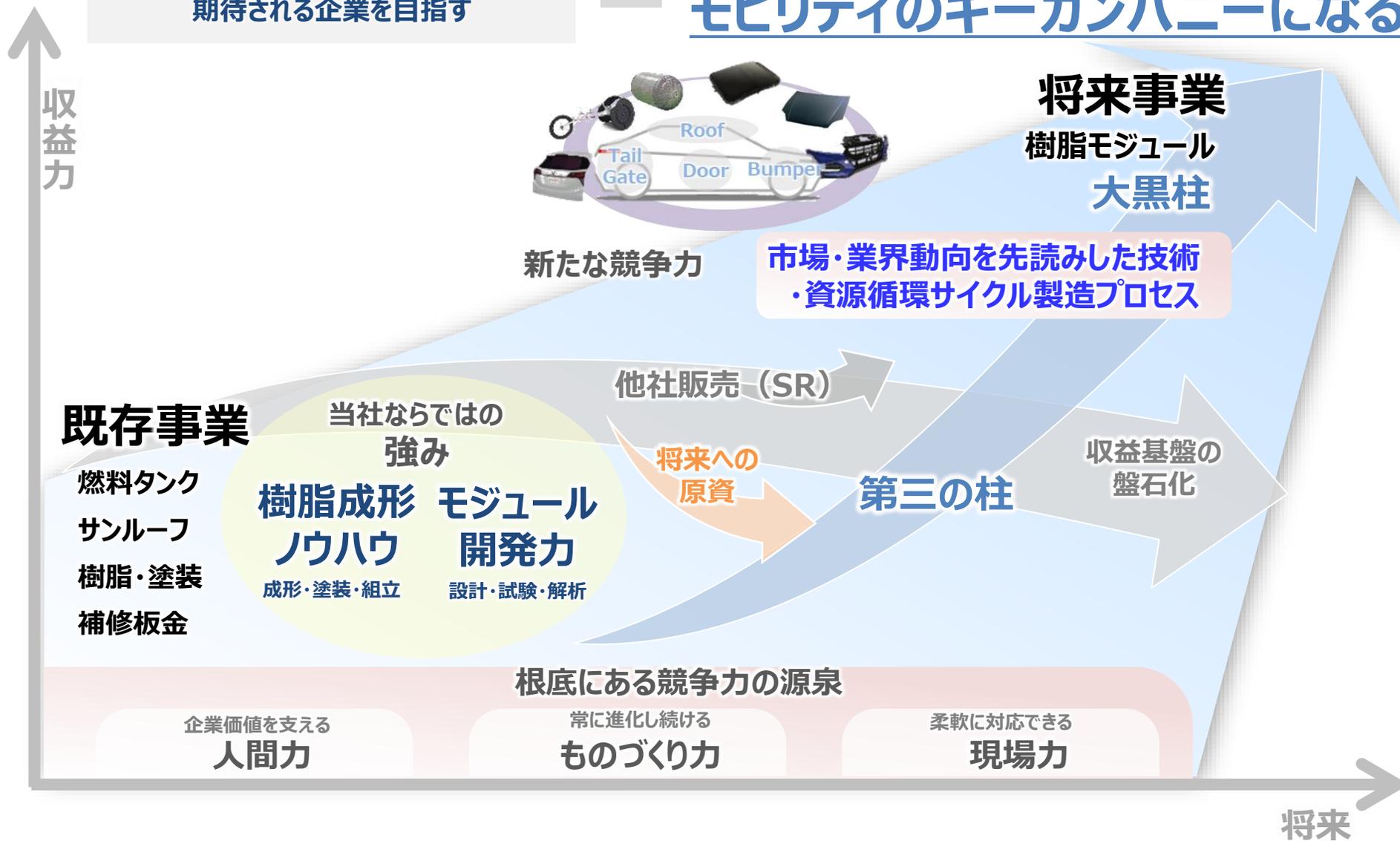
各自動車メーカー

長期的な電動化への方針、
具体的な販売計画が明示

目指す姿

当社グループが目指す目標
社会からその存在を認められ、
期待される企業を目指す

モジュール製品で モビリティのキーカンパニーになる



	2021年度 (実績)	2022年度 (見通し)	前年度比		
売上収益	1,642億円	1,650億円	8億円	(+0.5%)	↗
営業利益	105億円	80億円	-25億円	(-23.9%)	↘
税引前利益	119億円	80億円	-39億円	(-32.8%)	↘
親会社の所有者に 帰属する当期利益	52億円	23億円	-29億円	(-55.4%)	↘

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております